

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202205880239Z1	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス[上限外](人文・社会科学科目) / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習型の集中講義のため、COVID-19の状況により開講時期が変更になることがあります。注意してください。形態は対面。 MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史,銀行,企業金融,民法),楽しむことの意義を学術的に検討し(定石,交渉術と遊び,アクティブラーニング),さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費,サービスと経営成果,経営リテラシー)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び,考え,主張し,行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために,紳士・淑女としてゲームを楽しみ,また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与(30%),報告・小演劇ならびに質疑応答(30%),レポート課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読,およびLACSにアップされる資料のチェック。開講までに教科書と公式ルールを,不十分な理解でもよいので,計画的に精読しておくこと。ただし,事後に精読することにより理解が補われ,また深まるので事後学習を怠らないこと。(事前2h,事後2h)		
キーワード/Keywords	MONOPOLY,不動産経営,資産運用,複式簿記,抵当権,処世術・交渉術,土地・税制,民法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書:林徹(2019)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第2版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対面のみ。必携PC。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	交渉や取引に関心があればベストです。不動産投資、宅地建物取引、不動産賃貸経営、マンション管理（管理組合または管理組合法人）、委託管理業務（分譲マンションなど）、にも関心があればなおよいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中、老舗割箸小売商、有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において、横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり）、視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入）、その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般、トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, デモンストレーション, グループ分け
第2回	ゲーム実践1
第3回	ゲーム実践2
第4回	ゲーム実践3, 重要なルールの再確認
第5回	報告または小演劇(1)と質疑応答
第6回	報告または小演劇(2)と質疑応答
第7回	報告または小演劇(3)と質疑応答
第8回	報告または小演劇(4)と質疑応答
第9回	ゲーム実践4
第10回	ゲーム実践5
第11回	ゲーム実践6
第12回	ゲーム実践7
第13回	報告または小演劇(5)と質疑応答
第14回	報告または小演劇(6)と質疑応答
第15回	課題レポートの報告会
第16回	反省と今後の展望

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011001	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (教育学部 中学校・特支・幼稚園対象) (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集 (テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等) をしておくこと。(4h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)も持参すること		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新型コロナの影響もあり、オンライン授業になる可能性があります。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 ( 1 )
第 8 回	精神的自由権 ( 2 )
第 9 回	経済的自由権
第 1 0 回	人身の自由・国務請求権
第 1 1 回	参政権・選挙に関する事柄
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・予算
第 1 5 回	司法・地方自治・憲法改正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部の学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を 見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。(4h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須。加えて、初日(第1回と第2回)の講義を欠席した学生は、単位を取れませ るので注意して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新型コロナの影響もあり、オンライン授業になる可能性はあります。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 ( 1 )
第 8 回	精神的自由権 ( 2 )
第 9 回	経済的自由権
第 1 0 回	人身の自由・国務請求権
第 1 1 回	参政権・選挙に関する事柄
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・予算
第 1 5 回	司法・地方自治・憲法改正

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法(教育学部小学校対象)(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21, 教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部小学校専攻の1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館506		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が 憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、日本における憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えることができること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の諸問題にも目をむけることができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート40点、定期試験(憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語ることができる能力等を観る)60点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前に配布するレジユメの書かれている内容について、特にキーワードを中心に自身で調べること(2h) 事後学習: 授業で取り上げた内容について、教科書やレジユメをもとに理解を深めること(2h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】播磨信義・上脇博之・木下智史・脇田吉隆・渡辺洋【編著】『新・どうなってる!? 日本国憲法 憲法と社会を考える【第3版】』法律文化社 なお、毎回の授業においてレジユメを配布するとともに、適宜判例や参考文献についての情報を学生に発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造－立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ。受け身に講義を聞くのではなく、毎回PCを持参して、授業時間内に課題に取り組みながら理解を進めていくような授業である。		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家 1
第 6 回	平和国家 2
第 7 回	基本的人権 1 (総論)
第 8 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 1 0 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 1 1 回	基本的人権 5 (社会権)
第 1 2 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 1 3 回	三権分立 1
第 1 4 回	三権分立 2
第 1 5 回	総復習
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ。 受け身に講義を聞くのではなく、毎回PCを持参して、授業時間内に課題に取り組みながら理解を進 めていくような授業である。		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲 法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家 1
第 6 回	平和国家 2
第 7 回	基本的人権 1 (総論)
第 8 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 1 0 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 1 1 回	基本的人権 5 (社会権)
第 1 2 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 1 3 回	三権分立 1
第 1 4 回	三権分立 2
第 1 5 回	総復習
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ。 受け身に講義を聞くのではなく、毎回PCを持参して、授業時間内に課題に取り組みながら理解を進 めていくような授業である。		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲 法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家 1
第 6 回	平和国家 2
第 7 回	基本的人権 1 (総論)
第 8 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 1 0 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 1 1 回	基本的人権 5 (社会権)
第 1 2 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 1 3 回	三権分立 1
第 1 4 回	三権分立 2
第 1 5 回	総復習
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	オランダの文化(人文・社会科学科目) / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート80%、授業中の提出物・課題20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で配布された資料を読み、資料と講義の内容に基づいたレポート課題をしたうえで講義にのぞむこと(2h) 講義の内容を復習する(2h)		
キーワード/Keywords	オランダの歴史・オランダの文化・オランダの社会・オランダの教育		
教科書・教材・参考書/Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代(紀元前57年-紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝(756-814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世(1254-1296)とホラント伯(オランダ)の発展 ・英仏100年戦争 ・黒死病(ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易(1356年-1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義(1469-1536) 09. カール5世(1500-1558) ・ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・カール5世 ハブスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世(1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世(1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代(1588-1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社(1602-1799) 15. 平戸と出島 ・1609年 平戸オランダ商館創立 ・1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地(1612) 17. アムステルダム運河(1613-1662) 18. 公定オランダ語訳聖書(1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術(1602-1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳(1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制(1637-1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代(1795-1806) ・De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立(1795-1801) ・Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立(1801-1806)
第10回	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・Koninkrijk Holland ホラント王国時代(1806-1810) ・Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代(1810-1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代(1813-1830/39) ・1813年 Soevereïn Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生(1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839- )
第11回	30. マクス・ハフェラール(1860) 31. 児童労働 32. アレッタ・ヤコブスと女性解放 33. フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890) 34. 第一次世界大戦(1914-1918)



第12回	<p>35. デ・ステイル</p> <p>36. 1920-1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間)</p> <p>37a. 第二次世界大戦 オランダ</p>
第13回	<p>37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド</p> <p>38. オランダ領東インドの独立 (1945 - 1949)</p> <p>39. 1975年 オランダ領スリナムの独立</p> <p>40. 旧 オランダ領アンティル諸島</p> <p>41. 1953年の大洪水とデルタ計画</p>
第14回	現在のオランダの 政治・経済など
第15回	現在のオランダの 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	オランダの言語 (人文・社会科学科目) / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部特別オランダコース その他、オランダ・オランダ語に興味を持つ学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後  連絡してから		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義である。本講義のために作成した資料を活用し、聞く・話す・書く・読むことを通して聴解・読解・文法を学ぶ。会話の中に基本の文法を取り入れ、文法を自然に身に付けることを目指す。習ったオランダ語を、実際に楽しく用いる。また、オランダの人気ある歌を紹介し、オランダの文化も紹介する。		
授業到達目標/Course goals	初級レベルのオランダ語の聴解・読解・文法の知識を身に付ける		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 10% 小テスト 10% 定期試験 80%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	オランダ語、オランダ文化		
教科書・教材・参考書/Materials	オランダ語 I、オランダ語 I 文法、オランダ語 I 練習問題 (長崎大学・山下 龍)、講義で配布する。 講談社のオランダ語辞典の購入を勧める。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	Les 01. Hallo, ik heet Jelle
	Les 02. Wat is uw naam?
	Les 03. Woon je hier al lang?
	Les 04. Aangenaam kennis te maken
	Les 1-4 復習
	Les 05. Mijn familie / Hoe laat is het?
	Les 06. Wat doe je vandaag?
	Les 07. Een week heeft zeven dagen
	Les 08. Afspreken
	Les 1-8 復習
	Les 09. In een restaurant
	Les 10. Spreek je Nederlands?
	Les 11. De weg vragen
	Les 12. Boodschappen
	Les 1-12 復習 模擬テスト

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588005301	科目番号 / Course code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Course title	芸術と文化(人文・社会科学科目) / Arts and Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	主対象、1年~4年 全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	horiuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟 2階2		
担当教員TEL/Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標/Course goals	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポート による評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で取り上げられた課題について、各自テーマを選び、文献や音楽映像、ライブパフォーマンス などで理解を深める 2h		
キーワード/Keywords	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、演奏会		
教科書・教材・参考書/Materials	その都度指示します		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること。そして鑑賞した音楽作品、映像作品について、自分の言 葉で意見を発表できること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	テクノロジーの急速な発展は、残念ながら私たちの心、情緒、感性を必ずしも豊かにしてくれるものではありません。この授業は、様々なジャンルの音楽作品や、映像作品、秀逸なテレビコマーシャルなどを鑑賞していただき、感じ取ったこと、気づいたこと、そして考えたことなどを、自分の言葉で語っていただく授業です。そして、できることなら、人生の友としての「舞台芸術」、その入門講座になることを願っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	この授業の進め方、ガイダンス
第2回	「長崎の文化活動について」
第3回	「様々な映像作品に目を向けよう」
第4回	「様々な映像作品に目を向けよう」
第5回	「音楽文化活動としての音楽演奏」
第6回	「音楽文化活動としての音楽演奏」
第7回	「文化イベント・コンサートの作り方」
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第9回	「美術と音楽、その深い関係について」
第10回	「美術と音楽、そして芸術について」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588023901	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリで学ぶ教養としてのビジネス(人文・社会科学科目) / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習型の集中講義のため、COVID-19の状況により開講時期が変更になることがあります。注意してください。形態は対面のみ。 MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史,銀行,企業金融,民法),楽しむことの意義を学術的に検討し(定石,交渉術と遊び,アクティブラーニング),さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費,サービスと経営成果,経営リテラシー)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び,考え,主張し,行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために,紳士・淑女としてゲームを楽しみ,また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与(30%), 報告・小演劇ならびに質疑応答(30%), レポート課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読,およびLACSにアップされる資料のチェック。開講までに教科書と公式ルールを,不十分な理解でもよいので,計画的に精読しておくこと。ただし,事後に精読することにより理解が補われ,また深まるので事後学習を怠らないこと。(事前2h, 事後2h)		
キーワード/Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 処世術・交渉術, 土地・税制, 民法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 林徹(2019)『モノポリで学ぶビジネスの基礎(第2版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対面のみ。必携PC。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	交渉や取引に関心があればベストです。不動産投資、宅地建物取引、不動産賃貸経営、マンション管理（管理組合または管理組合法人）、委託管理業務（分譲マンションなど）、にも関心があればなおよいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中、老舗割箸小売商、有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において、横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり）、視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入）、その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般、トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, デモンストレーション, グループ分け
第2回	ゲーム実践1
第3回	ゲーム実践2
第4回	ゲーム実践3, 重要なルールの再確認
第5回	報告または小演劇(1)と質疑応答
第6回	報告または小演劇(2)と質疑応答
第7回	報告または小演劇(3)と質疑応答
第8回	報告または小演劇(4)と質疑応答
第9回	ゲーム実践4
第10回	ゲーム実践5
第11回	ゲーム実践6
第12回	ゲーム実践7
第13回	報告または小演劇(5)と質疑応答
第14回	報告または小演劇(6)と質疑応答
第15回	課題レポートの報告会
第16回	反省と今後の展望

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	今と昔の長崎に遊ぶ(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明 / Kira Fumiaki, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋厚 / Atsushi Hotei, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET RUDY, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明 / Kira Fumiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明 / Kira Fumiaki, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋厚 / Atsushi Hotei, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET RUDY, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kira_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部625研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2299		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限、木曜日2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。 みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。その長崎文化の魅力と本質を長崎という文化空間に即して解明すること、いうなればグローバル(グローバルとローカルを掛けた造語)な視点からの検証を行うことが本講義の目的です。長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、幅広い教養を身に付け、その教養を駆使して、この疑問に対する答えをともに導き出していましよう。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。 様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。 長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。 深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、次の2つの項目から行います。</p> <p>期末レポート 30%</p> <p>全15回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。</p> <p>コメントカード 70%</p> <p>各回の授業終わりの10分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードとしてGoogle Form等に記入します。</p>	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習においては、教科書の内容を読んでおくこと。また、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること(各回2時間程度の予習)。</p> <p>また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること。さらに、長崎歴史文化博物館と本学はキャンパスメンバーズの提携をしており、無料で常設展特別展を観覧できます。同博物館には長崎の歴史文化を物語る数多くの資料が収蔵展示されていますので、学期中一度は足を運んで下さい。(各回2時間程度の復習かつ独自学習)。</p>	
キーワード/Keywords	長崎、詳細は各回の授業キーワードを参照	
教科書・教材・参考書/Materials	『今と昔の長崎に遊ぶ』(九州大学出版会、2021年)。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です!	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをとともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course		
授業計画詳細/Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents	授業手法/
第1回 4月13日	巨樹の記憶 増崎英明 《被爆クスノキ》	A B
第2回 4月20日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》	A B
第3回 4月27日	近世貿易都市長崎の特質を考える 尾曲がり猫はどこからきたか 木村直樹 《長崎貿易》	A B
第4回 5月11日	交響する長崎の中国文化 おどり、りょうり、まつり 王維 《中国文化》	A B
第5回 5月18日	長崎八景 漢詩から長崎版画へ 中島貴奈 《長崎名所》	A B
第6回 5月25日	原爆投下直前の長崎 とくに長崎大学の前身とキャンパスの歴史について 布袋厚 《原爆 長崎の古地図》	A B
第7回 6月1日	出島オランダ商館で書かれた最後の日本文典の成立とその背景 TOET RUDY 《『日本文法試論』》	A B
第8回 6月8日	幕末期における長崎のグラバー商会と志士たち 長州藩・薩摩藩のイギリス留学 田口由香 《幕末の志士》	A B
第9回 6月15日	長崎における海軍伝習 南森茂太 《海軍伝習》	A B
第10回 6月22日	倉場富三郎が遺した日本西部及南部魚類図譜(通称:グラバー図譜) 山口敦子 《グラバー図譜》	A B

第11回 6月29日	軍事都市としての長崎 大平晃久 《軍事都市》	A B
第12回 7月6日	長崎に誕生した西洋式病院 安武敦子 《西洋式建築》	A B
第13回 7月13日	長崎の岬を3Dで表現してみる 全炳徳 《長崎の岬》	A B C D
第14回 7月20日	軍艦島の今と未来 出水享 《軍艦島》	A B
第15回 7月27日	武士が、砂糖で、商人へ 長崎の明治期士族授産事業からみる「近代知」の流れ 井手弘人 《知識と社会,「中央」と「地方」》	A B D

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220588027201	科目番号 / Course code	05880272
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16711_002		
授業科目名 / Course title	リスク社会を読み解くための人文社会科学概論(人文・社会科学科目) / "Risk Society" from the Perspective of Humanities and Social Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 見原 礼子, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 見原 礼子, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会のリスクは、様々な要因が複雑に絡み合い、ますます不確実性、予見不可能性に満ちたものとなっている。社会学者のベックは、まさにそのような現代社会の様相を「リスク社会」という言葉で表現した。そこでは、モダニティの持続的な発展および産業社会の存続可能性自体が、その前提としてリスクを内包している。 様々なレベルにおける社会的カストロフィ(崩壊)を回避しつつ、人類が21世紀を生き残り、100年後も幸福に生きられるような社会を実現するために、人文社会科学はどのような貢献が可能であろうか。本授業では、人文社会科学諸分野の「リスク社会」に対する捉え方を俯瞰しながら、このような人類共通の問いについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 人文社会科学諸分野で「リスク社会」がどのように捉えられ、現在どのような問題が提示されているかを理解する。(DP-2,4) (2) (1)の理解にもとづき、身近な社会的事象を「リスク社会」という枠組みを通して自分なりに解釈し、表現できるようになる。(DP-1,2,4)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点: 授業への積極的参加(ディスカッションやグループワークへの参加、アンケートへの回答など) 50% 課題点: レポートなど 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業の内容に関連する社会事象について論文やニュースなどから情報を収集して授業に臨む。(2h) 【事前学習】授業の後には、授業内容に関連する書籍や論文を読み、授業についての理解を深める。(2h)		

キーワード/Keywords	リスク社会、不安、宗教、民族主義、排外主義、歴史認識、災害、移動、教育格差、経済格差、貧困、差別、虐待、移民、難民、テロリズム、紛争
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への出席だけでは平常点は付与されないのをご注意ください。 グループワークやディスカッションへの参加、アンケートへの回答などが要件となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに 「リスク社会」とは何か
第2回	リスク社会論における「不安」の再検討
第3回	リスク社会における「境界文化」研究の可能性
第4回	現代社会におけるリスクと宗教（1）
第5回	現代社会におけるリスクと宗教（2）
第6回	リスク社会における子供（1）
第7回	リスク社会における子供（2）
第8回	途上国における母子保健課題
第9回	途上国貧困社会におけるリスクの多様性
第10回	現代社会が抱える環境問題
第11回	カザフスタンの環境問題
第12回	クルド人問題 - グローバルリスク社会を背景に - (1)
第13回	クルド人問題 - グローバルリスク社会を背景に - (2)
第14回	紛争とリスク社会
第15回	リスク社会と安全

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594000301	科目番号 / Course code	05940003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	アフリカ入門(人文・社会科学科目) / Introduction to African Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	佐藤 靖明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	佐藤 靖明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	佐藤 靖明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-sato nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel	内線: 2922		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールで連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アフリカは、自然・人類の多様性、さまざまな魅力や地球的課題が凝集した大陸である。そして、21世紀は「アフリカの世紀」とも言われている。しかし、日本の私たちの多くが抱くアフリカへのイメージは、まだ豊かになっているとは言えない。そこでこの科目では、まずアフリカを知るために重要となる基礎知識を身につけていく。さらに、一歩進めて「私たちにとってアフリカとは何なのか」について議論するための力を養う。		
授業到達目標/Course goals	アフリカ地域の基本的な知識を参考にして、自分とアフリカとの関係、世界とアフリカとの関係を立体的に考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(50点) + 最終試験による評価(40点) + 授業への取組み(10点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 毎回の授業日よりも前にあらかじめ参考資料を配布する。それに目とおした上で講義に臨むこと。(2h) 復習: 参考資料と授業中の資料、メモを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	アフリカ、進化、生業、リネージ、クラン、民族、国家、植民地、紛争、感染症、アフリカ 日本関係		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定せず、おもに以下の書籍を参考しながら授業を進める。 船田クラーク(編)『アフリカ学入門 ポップカルチャーから政治経済まで』明石書店、2010年 松田素二(編)『アフリカ社会を学ぶ人のために』世界思想社、2014年 宮本正興・松田素二(編)『新書アフリカ史(改訂新版)』講談社、2018年		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	アフリカをより身近に感じてもらうため、ゲストをお呼びして議論を行うことがあります。その日程によって、授業の回がずれることがあります。
学生へのメッセージ/Message for students	私は、学生の頃にアフリカを知ることによって、その後の人生や見える世界が（良い意味で？）すっかり変わってしまいました。この授業が、みなさんの心の中の「アフリカへの扉」を開く一助になれるとうれしいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【イメージとしてのアフリカ】アフリカにかかわる経験とイメージを確認する。また、アフリカを学ぶことの意義を意識する。
第2回	【アフリカの多様性・歴史性・同時代性】アフリカを理解する上でのキーワードと、それらの意味を理解する。
第3回	【自然(1)】人びとが生活する上での基盤となる自然と生態環境の特徴を理解する。
第4回	【自然(2)】霊長類の進化と人類誕生までの過程を理解する。
第5回	【暮らしと文化(1)】自然に依存する生業(狩猟・採集・農耕・牧畜)の特徴を理解する。
第6回	【暮らしと文化(2)】農村と都市の暮らしの実相を理解し、日本との共通点や違いを考える。
第7回	【暮らしと文化(3)】アフリカ社会を形づくる出自・居住様式のしくみを理解する。
第8回	【暮らしと文化(4)】アフリカにおける言語、民族、国家とそれらの関係を理解する。
第9回	【歴史(1)】歴史(王国形成、「アフリカの発見」、奴隷貿易、植民地支配)の流れを追う。
第10回	【歴史(2)】独立以後の政治経済的な変化を、いくつかの文脈に位置付けて整理する。
第11回	【現代の課題(1)】各地で起こっている紛争の問題とその背景を理解する。
第12回	【現代の課題(2)】感染症の問題とその背景を理解する。
第13回	【アフリカと日本(1)】ゲストとの対話をとおして、アフリカの社会を学ぶとともに、アフリカから見た日本についても考えを深める。
第14回	【アフリカと日本(2)】ゲストとの対話をとおして、アフリカの社会を学ぶとともに、アフリカから見た日本についても考えを深める。
第15回	【まとめ】授業全体の復習をおこない、私たちとアフリカの関係について話し合う。
第16回	最終試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594000901	科目番号 / Course code	05940009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	お金を通して社会・人間を考える(人文・社会科学科目) / Money, Society and Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	afukaura_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	095-820-6359		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜日午後2時から午後3時まで。 教官研究室(東南アジア研究所210、095-820-6359、afukaura@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview			
授業到達目標/Course goals	長崎大学が掲げる卒業時の人物像(共有学士像)形成の基盤を作り上げる。 現代社会が直面しているテーマを学びながら、批判的精神や探求能力を育成する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学期末試験(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各章ごとに講義内容に対応した練習問題が設置されている。		
キーワード / Keywords	経済活動・貨幣・金利		
教科書・教材・参考書 / Materials	LACSにアップロードした動画によるオンデマンド講義を行う。講義資料も併せてLACSに公開する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会科学の視点・経済学の視点
第2回	交換経済とその効果：交換と私的所有権
第3回	交換経済とその効果：同意に至る路・ゲーム理論
第4回	交換経済とその効果：パレート最適と比較優位
第5回	消費者の意思決定プロセス：消費量の決定と需要法則
第6回	消費者・生産者の意思決定プロセス：需要法則と利潤最大化原則
第7回	需要法則と利潤最大化原則の例外
第8回	貨幣と経済活動：欲望の二重の一致
第9回	貨幣と経済活動：貨幣の多面性
第10回	不確実性の経済学：期待効用・モラルハザード
第11回	不確実性の経済学：自己選抜
第12回	市場の失敗：公共財
第13回	市場の失敗：中古車売買・独占
第14回	経済活動と時間：利子率の効果
第15回	経済活動と時間：利子率の効果



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594001701	科目番号 / Course code	05940017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	異文化理解の実際(人文・社会科学科目) / Understanding of Different Cultures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe, Benom Carey / Carey Benom, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe, Benom Carey / Carey Benom, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (廣江) mkumagami nagasaki-u.ac.jp (隈上) careybenom gmail.com (ベノム) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL/Tel	(095)819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員へメールにて連絡をし、アポイントを取る。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	異文化理解をするうえで、「衣」「食」といった自分にとって身近な話題から「宗教」や「政治」などの話題まで様々な方向から異文化について考えることができる。その中でも「言語」は、その国・地域の文化や風習と密接な関わりをもっている。この授業では、特に日本語、英語という言語を起点にし、日英の言語文化の共通点、相違点を比較検討しながら異文化について理解を深めることをねらいとしている。		
授業到達目標/Course goals	アクティブラーニングを取り入れた授業方法をとり、以下の4点を到達目標とする。 1) 学生自身が、自主的に学習目標を立ち上げ探究する力をつける。 2) 適切な学習計画を実行し、仲間と議論、熟考すること通し多様性を理解する能力を身につける。 3) 学習成果を相互的に評価し、相互啓発志向を高めることを目標とする。 4) 以上の3点を通して相互の信頼、尊敬及び扶助、表現の自由、他者の意見の受容を獲得する。 5) 長崎県内の課題を整理して問題点とその解決案を発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Benom先生(35%), 隈上先生(35%), 廣江(30%) *詳しい内訳は、授業時にアナウンスする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として課題及び授業トピックについての下調べ2時間、事後学習として関連文献等のチェック2時間		
キーワード/Keywords	異文化理解、語、文化、共生思想、長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書は採用しない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	各人が 1) プレゼンテーションをする 2) ディベートに参加する 3) レポートを書く 4) 授業外学習に週平均2時間程度を充てること、参考資料をきちんと読むこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校 隈上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業の概要の説明） 担当教員：ベノム Language and culture: Frames - What is framing? Why is it so powerful? How are frames connected to culture? Who wants to master framing and control the frames used, and why? Discussion.
第2回	担当教員：隈上 第二言語習得1「言語(習得)を科学する：英語習得の何が難しいのか? < 1 > 1) 第二言語習得研究概論：第二言語としての英語習得研究の目的と歴史を概観する。 2) 長崎における英語習得：長崎における英語学習環境をもとに、日本人による英語習得に関して何が難しいのか、理想的な学習環境とはいかなるものかなどディスカッションする。
第3回	担当教員：ベノム Language and culture: Humor - What is humor? Why do humans use humor? Humor in English-speaking cultures and in
第4回	担当教員：隈上 第二言語習得2「言語習得の問題を科学的に考える：日本語は習得が難しい言語なのか? < 2 > 1) 第二言語としての日本語習得：注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。 2) アメリカでの日本語教育に関して、大学での授業や日本人学校の取り組みがどのようなものであるか理解する。 3) 長崎における日本語習得：長崎での日本語習得の機会（大学の授業、地域の日本語講座など）について調べ、海外（例：アメリカ）との違いを理解する。
第5回	担当教員：ベノム Language and culture: Metaphor and metonymy in English and Japanese - What is metaphor? Metonymy? Why are they important? What metaphors and metonymies are different in English and in Japanese? What metaphors and metonymies are the same?
第6回	担当教員：隈上 第二言語習得3「留学すれば外国語習得がうまくいくのか? < 3 > 1) 言語習得における様々な要因（年齢、学習環境、母語の特徴など）について提案されている言語習得仮説（例：臨界期仮説）について理解する。 2) 授業内容をもとに理想的な言語学習環境についてディスカッションし、グループごとにまとめる。
第7回	担当教員：ベノム Language and culture: Gender in English and Japanese - What is gender? How do we show our gender in language? How is the expression of gender different in English-speaking cultures and in Japan?

第8回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得4「多言語社会、多言語話者とは? : 多言語で生活することのメリット・デメリット &lt; 4 &gt;</p> <p>1) バイリンガリズム：ニューヨークの子どもの例をもとに、一言語環境と多言語環境の違いを理解する。</p> <p>2) 長崎におけるバイリンガル環境：留学生の例など長崎における多言語環境をいくつか紹介し、多言語を使いこなすことの利点や異文化における言語能力の重要性についてディスカッションする。</p>
第9回	<p>担当教員：ベノム</p> <p>Language and culture: Politeness in English and Japanese</p> <p>- What is Politeness theory? How is politeness different in English-speaking cultures and in Japan? Which is "more polite"? Also: we will reflect on some of the connections between politeness, gender, humor, frames, and metaphor and metonymy. What larger messages can we take home?</p>
第10回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得5「多言語社会と社会（健康、環境）問題：健全な多言語社会とは? &lt; 5 &gt;</p> <p>1) 多言語共生：これまでの授業で学んだ第二言語習得における問題（習得阻害要因）を整理し、日本における理想的な多言語環境のあり方についてディスカッションする。</p> <p>2) 多言語社会の課題：長崎において日常見受けられる異文化対応（他言語での表示、多言語対応のガイド等）をあらかじめ見付け、それらの効果や問題についてまとめ発表する。</p>
第11回	<p>担当教員：廣江</p> <p>1) 「ステレオタイプ論」</p> <p>日常に溢れるステレオタイプのものの捉え方の具体例を、グループで可能な限り出し合い、そのイメージがどうやって作られ浸透してきたのかを分析し議論する。</p>
第12回	<p>担当教員：廣江</p> <p>2) グローバル化に伴う日本的諸問題</p> <p>日本における「外国人留学生」、「帰国子女」といった用語をキーワードとして、グローバル化に伴う一般的日本人にありがちな陥穽について議論する。</p>
第13回	<p>担当教員：廣江</p> <p>3) Lost in Translationの視聴</p> <p>日本の「外国人」がもつ日本のイメージ(1)</p>
第14回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解を超えて</p> <p>4) Lost in Translation視聴</p> <p>日本の「外国人」がもつ日本のイメージ(2)</p>
第15回	<p>担当教員：廣江</p> <p>Lost in Translation視聴後、グループ・ディスカッションを行い、発表を行う。</p> <p>外国人留学生によるプレゼン</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594001901	科目番号 / Course code	05940019
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	音表現とグループ・プロセス(人文・社会科学科目) / Music and Group Process		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	昼休み(事前にメールにてアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>本講義では、共に奏でることとそれによって人々がつながりあうことの意義について体験を通して考えることを主とする。実技も含むが、音楽の得意・不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。いわゆるクラシック音楽は、講義内容に含まれないため注意すること。</p> <p>音楽を演奏する行為は、その原初は、遊びであると同時に、コミュニティ形成のための一つの手段だったはずである。音楽がプロ化することで、一部の人が奏で、その他大勢は聴き手にまわる文化状況が生まれ、それによって音楽の技術力は飛躍的に伸長するが、その一方で、多くの人々が音楽に音楽に参与する機会が社会の中で減少した。</p> <p>近代化した社会では減少してしまった「誰かと共に気楽に音楽を奏でる」という行為は、個人のウェルネスやコミュニティ形成にとって重要であることは今も変わらない。この点について、民族音楽学者、トマス・トゥリノ氏の理論的な枠組みを使って体験的に考察を深めていく。また、ウェルネスの実現のために音楽が果たす役割について体験をもとに考えるために、音楽と関連させたヨガの体験を行う。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。</p> <p>自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。</p> <p>自らと音楽の関係、音楽を通した他者とのかわり、社会における音楽の役割について考えを述べるすることができる。</p> <p>持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>レポート・提出物 70%</p> <p>出席・講義への参加度 30%</p> <p>授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習課題：講義内容の振り返り 2h 予習課題：課題文献の要約 2h
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ ヨガ
教科書・教材・参考書/Materials	ヨガの体験の際に、床に敷くためのバスタオルが必要となるため持参すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	対面講義を前提としたシラバスであるため、オンライン講義となった場合には内容が一部変更されるが、講義のねらいに変更は生じないため、安心して受講してほしい。
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	木部崎 幸子/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を有している。/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を活かし、現代社会におけるアーティストという職業について、これまでの経験をもとに話をさせていただくことで、音楽と社会の関わりの一側面について明らかにする。また、もう一つは、グローバル化の中で、伝統音楽の今とこれからがどうなっていくのか、いくべきなのかについての授業を実施する。/ 西田 治/音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ
第2回	ヨガと音楽
第3回	グループでの即興演奏 1
第4回	ヨガのアート
第5回	グループでの即興演奏 2
第6回	体調を整えることと音楽
第7回	サウンドスケープ 1
第8回	マインドフルネス 1
第9回	サウンドスケープ 2
第10回	マインドフルネス 2
第11回	参与型音楽の概要
第12回	ミュージックメディスン
第13回	持続可能な音楽行為
第14回	音楽と呼吸
第15回	気づきを向けること

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594002101	科目番号 / Course code	05940021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	環境問題の歴史から学ぶ(人文・社会科学科目) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ることで、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標 / Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	復習: 講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード / Keywords	環境問題、公害、社会システム、資源利用		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 : 6/15, 3限	白川担当 講義の概要
第2回 : 6/15, 4限	白川担当 公害問題 1
第3回 : 6/22, 3限	白川担当 公害問題 2
第4回 : 6/22, 4限	白川担当 公害と化学
第5回 : 6/29, 3限	白川担当 公害問題について考える
第6回 : 6/29, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回 : 7/6, 3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (イギリス)
第8回 : 7/6, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (フランス)
第9回 : 7/13, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回 : 7/13, 4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回 : 7/20, 3限	大田担当 近代以前の資源循環
第12回 : 7/20, 4限	大田担当 食料生産と土地利用
第13回 : 7/27, 3限	大田担当 日本における人間-森林関係
第14回 : 7/27, 4限	大田担当 世界各地の人間-森林関係
第15回 : 8/3, 3限	大田担当 人類の未来と資源利用を考える

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594002501	科目番号 / Course code	05940025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	近世の長崎における外国人の日本語研究(人文・社会科学科目) / Studies of the Japanese Language by Foreigners in Early Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この科目では、近世の長崎における外国人、とりわけポルトガル人宣教師と平戸・出島オランダ商館員の日本語学習・研究を扱う。インターネットで電子化・一般公開されている彼らの辞書や文典を紹介する。その中で記述されている日本語はどのようなものかについて考察し、それに基づいて、言語変化および長崎方言についても考える。また、オランダ商館日記等の史料に基づいて、この人たちがどのような状況で長崎に滞在し、日本語を学習・研究したのかについても考察する。狙いは、いわゆる「鎖国時代」でもヨーロッパ人が来航し続けた長崎はどのような「言語環境」であったのかについて理解することである。		
授業到達目標/Course goals	1. 近世の長崎における外国人の滞在状況および日本語学習・研究事情を理解し、説明できるようになる(4, 6)。 2. 古い日本語研究資料に基づいて言語変化および長崎方言について論じることができるようになる(4)。 3. 近世の日本に関係する海外史料にどのようなものがあるかについて理解し、一部利用できるようになる(1, 2)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み 30点 提出物(小レポート)の平均点数 30点 期末レポート 40点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】 毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】 振り返りシートを記入し、数回提出を求める小レポートを執筆すること。(1コマ当たり2時間)		



キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	オリエンテーションに加えて、近世の長崎で日本語を学習・研究した外国人はいつ、どこから、何をしに来た人であったかについて、いわゆる「鎖国」の歴史を追って概説する。
第3～4回	16世紀末～17世紀初頭： ポルトガル人宣教師の日本語学習・研究を扱う。『日葡辞書』やロドリゲスの『日本大文典』を紹介する。
第5～6回	17世紀初頭～18世紀末（その一）： ケンペルの日本語研究（17世紀末）を除き、17世紀初頭～18世紀末の間、なぜ平戸・出島オランダ商館員の日本語研究資料が残っていないかについて考える。「商館員の日本語学習の禁止」について考察する。
第7～8回	17世紀初頭～18世紀末（その二）： ケンペルの日本語研究（17世紀末）とトゥーンベリの日本語研究（18世紀末）を紹介する。
第9～10回	19世紀前半（その一）： 蘭和辞典『ドッフ・ハルマ』（『長崎ハルマ』とも）およびその成立やオランダへの「密輸出」について考察する。
第11～12回	19世紀前半（その二）： シーボルトの日本語研究を紹介する。
第13～14回	19世紀半ば： クルチウス編纂ホフマン増訂『日本文法試論』およびその成立の背景と経緯について考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめ、取り上げることができなかったことに触れる。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594002901	科目番号 / Course code	05940029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	芸術の世界(人文・社会科学科目) / The World of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmakino nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部美術技術棟 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2350		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 3限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	近代以降の美術の概観の学習と、簡単な素描を通して、美術の仕組みを理解し教養の拡充に努める。		
授業到達目標 / Course goals	1、近代以降の美術史と問題意識が理解できるようになる。 2、素描を通して、その仕組みが理解できるようになる。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	LACSIに1500点分の問題あるいはレポートを用意し、講義において授業をした後、回答する。この点数の積み重ねによって60%以上を段階的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 適宜、講義内で指示します。(2H) 復習: 適宜、講義内で指示します。(2H)		
キーワード / Keywords	素描・近代美術		
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	牧野一穂/作家として20年間にわたり作品を提供している/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションと近代以降の美術の造形意識について	A
第2回	基本形態と明度・彩度とパースペクティブなどの造形のルールについて	A
第3回	素描(直方体・立方体)について	A C
第4回	素描(球・円柱)について	A C
第5回	素描(多面体)について	A C D
第6回	素描(複数の基本形態の組み合わせ)について	A C D
第7回	構図と素描の関係について	A C
第8回	素描(想定された状況における造形)について	A D
第9回	素描(支持体の明度が反転した状況における)の概念について	A D
第10回	素描(支持体の明度が反転した状況における)の実際について	A D
第11回	素描と関係(完成度)について	A D
第12回	素描と関係(バールール)について	A D
第13回	素描(自画像)描きだしについて	A D
第14回	素描(自画像)完成について	A D
第15回	まとめ	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594003101	科目番号 / Course code	05940031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	国際比較刑事法入門 グローバル化する犯罪と刑事手続(人文・社会科学科目) / Introduction to International Comparative Criminal Law : Globalization of Crimes and Criminal Procedure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21, 教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura_nagasaki-u.ac.jp ( @ )		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日(事前に連絡してアポイントを取ってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は、社会科学(刑事法学)の基礎知識を提供するものである。本授業においては、グローバル化する犯罪と刑事手続について学習する。各国によってどのような行為が犯罪となるのかは異なる。また、犯罪に対する刑罰についても同様に異なる。日本の刑法では死刑が刑罰の一つに規定されているが、死刑をめぐる「人権」との関係で国際社会による批判もある。どのような人権が保障されているのか、人権の保障も各国の国内法の内容は様々である。犯罪がグローバル化する中で、各国の間では刑事司法共助に関する条約の締結が進められているが、刑事司法共助をめぐる課題も多い。本授業では、日本の刑事法を中心に学習するが、「香港における人身の自由」やカルロス・ゴーン国外逃亡の問題等も含め、「外」の視点(グローバルな視点)を重視しながら、諸外国との比較をしたり日本の問題を検証したりすることをねらいとする。また、医学部や工学部等の理系の学生をも対象とすることから、医療過失、死因究明やAI(自動運転)化による自動車事故の過失責任の問題についても授業の中で取り上げたい。		
授業到達目標/Course goals	既存の制度を批判的に論じ、よりよい制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。法学の多元的なアプローチ(分析手法)を学習した上で、それを用いて、さらには、グローバルな視点とローカルな視点から、日本国内および国際社会で生じている様々な人権問題の解決に向けて提言する基礎的能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業内で教科書等を読むことはしないため、教科書については、主に事前の予習、事後の復習の教材に役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「グローバル化する犯罪と刑事手続」について考えること。(予習2時間・復習2時間)		

キーワード/Keywords	グローバル化, 刑法, 刑事訴訟法, 犯罪, 刑罰, 刑事手続, 刑事司法共助, 医療過失, AI
教科書・教材・参考書/Materials	教科書等については、初回の授業で教科書・参考書等の説明を確認したうえで購入してください。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。『デイリー六法』（三省堂）の購入をお薦めしています（『ポケット六法』（有斐閣）も可です）。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。 【教科書】河村有教『入門刑事訴訟法【第2版】』（晃洋書房、2022年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	法学、法律学に関心のある理系の学生を歓迎します。法律の条文を一つ一つ読んで確認しながら、楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「法」とは何か? 「法」は私たちの生活にどのような意義を有しているのか?
第2回	刑法における罪刑法定主義の意義－香港国家安全維持法について考える
第3回	私たちが法的責任を問われるとき－刑事事件と民事事件
第4回	絞首刑（死刑）という刑罰について考える
第5回	人身の自由とDue Process of Lawの保障
第6回	犯罪の予防と犯罪の捜査－法律と判例による統制
第7回	令状によらないGPS捜査は適法か?－令状主義と強制処分法定主義について
第8回	強制的な身柄確保・拘束と証拠の収集－国外逃亡者カルロス・ゴーンの声明を考える
第9回	死因究明における調査と捜査の課題－法医学への期待
第10回	検察審査会について知っている?－事故（医療過失事故を含む）について考える
第11回	刑事裁判における事実認定と量刑
第12回	刑事裁判において使ってよい証拠と使ってよくない証拠
第13回	刑事裁判と少年審判は何がどう違うの?
第14回	グローバル化する犯罪と刑事手続
第15回	AI(自動運転)化に伴う法律上の課題 法学と工学の架橋
第16回	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594003301	科目番号 / Course code	05940033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	市民社会と法(人文・社会科学科目) / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうる身近な6つの分野について、法がどのように規律しており、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、将来みなさんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。</p> <p>この授業は3・4校時に連続で行うので、基本的にその連続した時間で一つのテーマを扱う。受け身に講義を聞くのではなく、毎回PCを持参して、授業時間内に課題に取り組みながら理解を進めていくような授業である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>基礎的な法の概念が理解できるようになる。 法的な思考力を身につけて社会でのトラブルに対処できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h) 復習 配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)</p>		
キーワード/Keywords	法学入門、民法、裁判員		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で資料を配布し、必要に応じて参考文献を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	家族と法 1 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。
第 2 回	家族と法 2
第 3 回	相続と法 1 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。
第 4 回	相続と法 2
第 5 回	ジェンダーと法 1 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているかについて学ぶ。
第 6 回	ジェンダーと法 2
第 7 回	裁判員制度 1 アメリカの陪審制度を扱った映画『十二人の怒れる男』を題材に、市民が刑事裁判に参加することの意義を考え、日本の裁判員制度についての理解を深める。
第 8 回	裁判員制度 2
第 9 回	消費者と法 1 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。
第 1 0 回	消費者と法 2
第 1 1 回	不動産と法 1 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。
第 1 2 回	不動産と法 2
第 1 3 回	事故と法 1 他人の持ち物をうっかり壊した場合に「弁償する」などという。また、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の「損害賠償」という語を教わるだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。
第 1 4 回	事故と法 2
第 1 5 回	総復習
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594003501	科目番号 / Course code	05940035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	社会と教育(人文・社会科学科目) / Education in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	酒井 友文		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	酒井 友文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	酒井 友文		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomohumi nagasaki-ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(酒井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2903		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メール対応(随時)tomohumi nagasaki-ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学力、いじめ等支援を要する児童への対応、防災教育等、現在日本の教育が抱えている課題について理解するとともに、グローバル化、超少子高齢化等、急激に変化する社会の中で求められる教育の在り方や自身が身に付けるべき資質・能力等について考える。		
授業到達目標/Course goals	教育課題及び教育現場の現状・取組みについて理解し説明することができる。 職業人、社会人、家庭を築く人として教育にどのように向き合えばよいか具体的に述べることができる。 教育に対し自分の意見を持ち、自ら学びに向かう力を高めるための実践ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・課題(50点)+協議等への参画・態度(10点)+試験(40点)=100点のうち、60点以上を合格とする。なお欠席した回数が3回を上回る場合は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	次時のテーマに関連した課題を提示し事前学習の成果を提出させる。		
キーワード/Keywords	求められる学力 家庭・地域社会・学校の連携 危機管理(子どもの心と命)		
教科書・教材・参考書/Materials	学習指導要領、教育委員会等行政機関が発行している資料、新聞・インターネット等で取りあげられている記事及び配布資料等		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			



学生へのメッセージ/Message for students	やがて改めて教育と向き合う時がきます。教育を通して見える社会、社会の変化を通して見える教育の姿を協議を通して深めたいと考えています。次代を生きる社会人として、職業人として、家庭を築く人として求められる資質・能力について考える機会にしましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	酒井友文/小学校教員の経験あり。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回11月30日(水)	教育の現状・課題 1	A B
第2回11月30日(水)	教育の現状・課題 2	A B C
第3回12月7日(水)	求められる学力 1	A B C
第4回12月7日(水)	求められる学力 2	A B C
第5回12月14日(水)	学校における危機管理 1	A B C
第6回12月14日(水)	学校における危機管理 2	A B
第7回12月21日(水)	支援を要する児童生徒 1	A B C
第8回12月21日(水)	支援を要する児童生徒 2	A B
第9回1月11日(水)	家庭・地域の教育力 1	A B
第10回1月11日(水)	家庭・地域の教育力 2	A B
第11回1月18日(水)	ふるさと教育とグローバル社会 1	A B C
第12回1月18日(水)	ふるさと教育とグローバル社会 2	A B
第13回1月25日(水)	キャリア教育 1	A B C
第14回1月25日(水)	キャリア教育 2	A B C
第15回2月1日(水)	社会と教育まとめ(教育の不易と流行)	A B D
第16回2月1日(水)	テスト(小論 2題予定)	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594004101	科目番号 / Course code	05940041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	租税と社会(人文・社会科学科目) / Tax and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部は除く		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahiro.kato@nagasaki-u.ac.jp (メール送信時は を@に変更してください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス(片淵キャンパス)の本館(学務係が1階にある棟)6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ(オンラインでも可能です)。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	租税の概略について、社会との関わりに触れつつ解説する。このことを通じて、租税の社会における役割などを理解する。なお、授業は原則として対面で実施。		
授業到達目標/Course goals	租税の仕組みなどについて把握するとともに、租税の社会における役割などを理解した上で、今後の租税のあり方などについて自ら考えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点20点、期末試験80点(追試についてはレポート)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	所得税の部分については、計算方法の予習を行うことが望ましい。		
キーワード/Keywords	租税、税、税務行政、租税手続き		
教科書・教材・参考書/Materials	不要にする代わりに、授業にはPCを持参してください。法令検索やグループワークに多々使います。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	特にありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)	能動的に租税に対する理解を深められるよう、グループワークを多く取り入れます。		
学生へのメッセージ/Message for students	初回の授業で示します。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤 隆宏 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案 (税制改正)、国際課税などに携わった経験を活かし、授業を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (授業の進め方・予定など)
第2回	租税と社会について
第3回	租税と社会について
第4回	租税と社会について
第5回	租税と社会について
第6回	租税と社会について
第7回	租税と社会について
第8回	租税と社会について
第9回	租税と社会について
第10回	租税と社会について
第11回	租税と社会について
第12回	租税と社会について
第13回	租税と社会について
第14回	租税と社会について
第15回	租税と社会について
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594004301	科目番号 / Course code	05940043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	地域経済とソーシャルビジネス(人文・社会科学科目) / Regional Economy and Social Business		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所2F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにて質問を受け付ける。 junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地域経済とソーシャルビジネスの定義、現状や課題を踏まえて、SDGs、ESG、エシカルやプラネタリーヘルスなどの視点から、個人や組織の社会性と地域経済の持続可能性との関係について学びます。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会における多様性の重要性について説明できる。</li> <li>2. 地域社会において社会性と経済性を両立することの重要性や方法について説明できる。</li> <li>3. 1と2を踏まえて、地域社会の持続可能性について他者と協働して検討できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題50点 + レポート課題50点 = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：次回講義で採り上げる事例等について、新聞、TVやインターネットから情報を収集・整理する(2h)。 復習：講義で配布された資料を再読し、理解を確実なものとする(2h)。		
キーワード/Keywords	地域経済、ソーシャルビジネス、SDGs、ESG、エシカル消費、持続可能性		
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員作成の資料をLACSにて配布・使用するため教科書等は指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	地域経済やソーシャルビジネスの現状や課題についてアンテナを高く張って自ら情報を収集することを心がけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回4月13日 ( 水 ) 3校時	講義ガイダンス
第2回4月13日 ( 水 ) 4校時	地域経済の基礎理論 1
第3回4月20日 ( 水 ) 3校時	地域経済の基礎理論 2
第4回4月20日 ( 水 ) 4校時	地域経済の現状 1 : 長崎県を例に
第5回4月27日 ( 水 ) 3校時	地域経済の現状 2 : 長崎県を例に
第6回4月27日 ( 水 ) 4校時	ソーシャルビジネスの概論
第7回5月11日 ( 水 ) 3校時	ソーシャルビジネスの事例
第8回5月11日 ( 水 ) 4校時	ソーシャルビジネスの課題
第9回5月18日 ( 水 ) 3校時	グループワーク 1 : 地域課題の発見
第10回5月18日 ( 水 ) 4校時	グループワーク 2 : 地域課題の整理
第11回5月25日 ( 水 ) 3校時	グループワーク 3 : 地域課題の解決にかかるアイデア
第12回5月25日 ( 水 ) 4校時	グループワーク 4 : 地域課題の解決にかかる活動計画
第13回6月1日 ( 水 ) 3校時	プレゼンテーション 1
第14回6月1日 ( 水 ) 4校時	プレゼンテーション 2
第15回6月8日 ( 水 ) 3校時	講義のまとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594004501	科目番号 / Course code	05940045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	都市環境を考える(人文・社会科学科目) / Introduction to Urban Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部の学生は除く		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	twatanab nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4F 430		
担当教員TEL/Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>授業の概要：第1回目は、本講義の概要、本講義の全体を通じて基礎となる知識を説明する。以降は、担当教員の専門分野にもとづき、景観(2,3,4,5回目)、緑地(6,7回)、市街地とまちづくり(8,11,13回)、交通(9,10回)、観光(12回)、広域計画(14,15回)に関わる講義が行われる予定である。</p> <p>授業の位置づけ：本科目は、長崎市の都市環境を素材とした講義を通じて、多くの人が居住する都本講義の主要な目標は、各講義を通じて、(1)長崎の都市環境をめぐる歴史と現状を理解する、(2)都市環境とは多面的な側面から構成されていることを理解する、(3)都市環境の維持・発展に向けては様々な考えなければいけないことがあることを理解することです。</p>		
授業到達目標/Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験：70%、修学状況：30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：授業内容に記載された内容に係る情報を新聞・テレビ・インターネットなどにより調べること。(2h) 復習：レジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	都市環境、景観、緑地、里山、斜面市街地、交通、観光、まちづくり、国土・地方計画		
教科書・教材・参考書/Materials	教材：ハンドアウトを配付する予定です。 参考書：講義時に各教員が指示する予定です。本講義に大きく関係する参考書としては、以下があります。 谷村賢治・杉山和一・渡辺貴史(2012)：もう一つの長崎さるく 豊かな景観と育んだ歴史的個性・晃洋書房		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞・テレビ・インターネットなどを通じて長崎の都市環境をめぐる情報を知ることは、本講義の内容を理解する上でとても有用です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入：講義の概要，計画とは何か（渡辺）
第2回	都市環境とは何か，長崎市の概要（渡辺）
第3回	景観の基礎知識（渡辺）
第4回	長崎市の景観の特徴（渡辺）
第5回	長崎市の個性を活かした景観の形成に向けて（渡辺）
第6回	都市環境の形成に果たす緑地の役割（渡辺）
第7回	長崎市の緑地の特徴（渡辺）
第8回	長崎の住宅地の現状と課題（渡辺）
第9回	長崎県における地域公共交通の現状（片山）
第10回	斜面市街地の交通システム（片山）
第11回	長崎市の中心市街地とまちづくり（片山）
第12回	長崎の観光を考える（片山）
第13回	都市環境の形成と都市計画（片山）
第14回	広域計画にみる長崎（片山）
第15回	長崎の活性化と広域連携（片山）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594004901	科目番号 / Course code	05940049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	被ばくと社会(人文・社会科学科目) / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 山口 響, 林田 光弘 / Hayashida Mitsuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 山口 響, 林田 光弘 / Hayashida Mitsuhiro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター (RECNA) 鈴木教授室		
担当教員TEL/Tel	鈴木達治郎 (095-819-2947)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火、木、午後4:00~6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「被ばく」という言葉の意味(原爆のみならず、自然放射線や原子力平和利用からの放射線被ばくも含む)を理解するとともに、被爆体験の継承、在外被爆者の実態と課題、平和教育、原爆資料保存の意義と継承の課題、などについて理解を深め、被爆体験や遺構の継承についてその意義とあり方について自ら考える。		
授業到達目標/Course goals	授業は、多様な視点から講義とグループディスカッションによって構成される。講義の内容を理解するとともに、その内容をもとに課題を自ら見つけ出し、その解決方法や自分たちができることを、学生同士のグループディスカッションを通じて、自ら考え、意見を形成していく。情報をただ受け取るだけでなく、自ら情報を取りに行き、そして自ら考え行動できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席 30点、各テーマのレポート 15点×3=45点、最終レポート 25点 合計100点満点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は特になし。毎回講義後に感想シートとキーワードを提出。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		



備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	米澤 紀子/株式会社テレビ長崎 報道部の実務経験を有している。/株式会社テレビ長崎 (報道部) の実務経験を活かし、韓国人被爆者に焦点を当てたテレビ報道や、緻密な取材に基づき、被爆問題の広がりや次世代への継承に関する授業を実施する。/ 林田 光弘/高校生平和大使、被爆者国際署名運動のキャンペーンリーダーなど、学生時代より平和活動に従事。長崎大学核兵器廃絶研究センターでは、被爆前の写真をデジタル化して教材化するプロジェクトに従事。長年の平和活動の経験を通じた継承活動の在り方について講義する/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (鈴木達治郎) 講義概要の説明、自己紹介
第2回	第2回 報道に見える被ばくと社会 (1) 橋場紀子
第3回	第3回 報道に見える被ばくと社会 (2) 橋場紀子
第4回	第4回 報道に見える被ばくと社会 (3) 橋場紀子
第5回	第5回 報道に見える被ばくと社会 (4) 橋場紀子
第6回	第6回 報道に関するまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第7回	第7回 被爆の実相伝承のデジタル化について (1) 林田 光弘
第8回	第8回 被爆の実相伝承のデジタル化について (2) 林田 光弘
第9回	第9回 被ばくの実相デジタル化のまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第10回	第10回 長崎原爆の記録と記憶 山口 響
第11回	第11回 原爆体験の継承 山口 響
第12回	第12回 長崎の平和教育 山口 響
第13回	第13回 長崎の記録・体験の継承と平和教育のまとめ (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第14回	全体のまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第15回	学生の発表 鈴木達治郎

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594005101	科目番号 / Course code	05940051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	文字と社会(人文・社会科学科目) / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	keiko-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 5		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	日本語表現のうち、文字言語によるものの特徴を多角的に吟味し、言語力を深める。		
授業到達目標 / Course goals	1) 自分自身の「文字と社会」力を客観的に認識することができる。 2) 日常文書の特徴を理解し、実際に書くことができる。 3) 文字言語による日本語表現の特徴を俯瞰することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [ 10% ] OB訪問報告書 [ 30% ] 第2単元に関する提出物 [ 30% ] 試験 [ 30% ]		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後(各2h)の学習の成果を紙媒体で 提出することとします。量ではなく、質を求めます。		
キーワード / Keywords	日常生活、文字言語、コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	『美しい日本語表現』池田悠子著 双文社 『書字のススメ』石川九揚著 新潮社 『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木慶子/高等学校国語科教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/14)	オリエンテーション、受講基礎調査
第2回(4/14)	自己紹介のための自己分析, 「興味のあることの変遷表」を作る
第3回(4/21)	面接では、人間のここを観る 原田岳氏[株式会社富建 代表取締役社長]
第4回(4/21)	今日の講話を、後輩に説明する文章を執筆する
第5回(4/28)	自己分析と変遷表を使って、自己紹介の文章を執筆する。OB訪問に持参する
第6回(4/28)	自己紹介OB訪問に備えて、口頭での自己紹介の演習
第7回(5/12)	OB訪問(1)
第8回(5/12)	OB訪問(2)
第9回(5/19)	上質なお礼状を書くために.....石丸忠直氏[石丸文行堂 代表取締役社長] 万年筆を作ろう、自分の万年筆で書こう
第10回(5/19)	訪問先のOBに、お礼状を書く(下書き)
第11回(5/26)	OB訪問の報告会(ppで、各チーム5分程度)
第12回(5/26)	報告会での質疑応答を含めた報告文章を執筆する
第13回(6/2)	登場人物を紹介する文章を書く
第14回(6/2)	読書した本の登場人物の紹介 ボードを使った口頭での相互交流
第15回(6/9)	最終レポート「4人の人物像を書く」を郵送する 社会的システムの活用、郵送マナーの実行 * 4人.....原田氏、石丸氏、訪問したOB氏、読書した本 の中の人物
第16回(6/9)	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594005301	科目番号 / Course code	05940053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	法学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	西久保 h-nishikubo nagasaki-u.ac.jp 菊池 hkikuchi nagasaki-u.ac.jp 本庄 mhonjo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	西久保 環448 菊池 環406 本庄 環426		
担当教員TEL/Tel	西久保 095-819-2717 菊池 095-819-2725 本庄 095-819-2719		
担当教員オフィスアワー/Office hours	西久保 木曜日1200-1300 菊池 水曜日1100-1200 本庄 随時(事前にメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	法とは何か、法の意義と役割、法の支配など法に関する基本的な考え方や知識を学ぶとともに、日本国憲法に基づく個人の尊重、国民の権利の保障、裁判員制度を含む司法の仕組みなどの国のなりたちや、家族、契約、財産、労働など私たちの暮らしに関係する法のあらましを学びます。		
授業到達目標/Course goals	法に関する基本的な考え方や知識、日本国憲法に基づく国の仕組み、及び私たちの暮らしに関係する法の概略を理解し、その概要を説明できることが本授業の到達目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(80%)、授業への積極的な取組状況(20%)の割合で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACS上に事前に講義資料を掲載するので、あらかじめ目を通して分からない点を確認しておく(2h) 復習: 講義資料により復習を行い、講義内容を理解しているか確認する(2h)		
キーワード/Keywords	法の支配、基本的人権、三権分立、罪刑法定主義、契約の自由		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 「法学入門(第6版補訂版)」末川 博倫(2014年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	本授業の資料は主体的学習促進支援システム（LACS）で提供します。	
学生へのメッセージ/Message for students	法律というとなんだか難しそうですが、私たちが生まれた時から身近にあるものであり、トラブルに巻き込まれたときはもちろん、そうでなくても日常生活の中に常について回るものですので、この授業で法学の基礎について学んでいただければと考えています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション：西久保、菊池、本庄	A
第2回	家族と法(参考書第10講)：西久保	A
第3回	契約の自由(参考書第11講)：西久保	A
第4回	財産(参考書第12講)：西久保'	A
第5回	損害賠償(参考書第13講)：西久保	A
第6回	労働者の権利(参考書第14講)：西久保	A
第7回	近代国家と憲法、権力分立(参考書第6講、第7講)：菊池	A
第8回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第9回	'基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第10回	犯罪と処罰(参考書第9講)：菊池	A
第11回	法学を学ぶにあたって、法とは何か(参考書序講及び第1講)：本庄	A
第12回	法の発展(参考書第2講)：本庄	A
第13回	法と裁判、裁判の基準(参考書第3講及び第4講)：本庄	A
第14回	法の解釈(参考書第5講)：本庄	A
第15回	まとめ：西久保、菊池、本庄	A
第16回	筆記試験	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594006901	科目番号 / Course code	05940069
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	国際政治経済学(人文・社会科学科目) / International Political Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5F助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後或いは事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化が進む国際社会を理解するために、国際政治経済学の主要な問題(たとえば、環境、 移民、援助など)を検討する必要がある。その背景にある政治と経済の変化は国際政治経済学の学 際的な枠組みを作り上げる。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、国際政治経済学とは何? 勉強すると何が分かるの? といった基本的な問いに答える ことで、国際政治経済学に関する基本的な判断力を養うことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 = 15% 予習・復習への取り組み(課題提出) = 25% 最終レポート = 60% *期間中に行うディスカッションも評価の対象とする *ディスカッションに参加するためには講義への出席が最低条件となる		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: ディスカッションや最終試験等の準備。新聞やテレビなど、いきかうニュースを見ること。 事前資料がある場合は資料を読むこと。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	国際移民、援助、地球環境問題、グローバル化、人権、安全保障、海外直接投資		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	どなたでも受講可能です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に行うディスカッションに積極的に参加することは非常に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：講義の目的、進め方
第2回	国際政治経済学の歴史
第3回	国際政治経済学の理論（リアリズム）
第4回	国際政治経済学の理論（リベラリズム）
第5回	貿易をめぐる政治経済
第6回	貿易をめぐる政治経済
第7回	前半のまとめ
第8回	金融グローバル化をめぐる政治経済
第9回	移民をめぐる政治経済
第10回	援助をめぐる政治経済
第11回	地球環境問題をめぐる政治経済
第12回	海外直接投資をめぐる政治経済
第13回	安全保障と経済をめぐる政治経済
第14回	グローバル化社会の中での日本と世界
第15回	理解度の確認、まとめ、総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594007101	科目番号 / Course code	05940071
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	社会理論入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Social Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	寺田 晋		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	寺田 晋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	寺田 晋		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuniyuki.terada nagasaki-u.ac.jp ( を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階(多文化社会学部)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2921		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問がある場合はEメールで事前に日時を相談してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	いわゆる「理系」と呼ばれる自然科学の学問に対し、「文系」と呼ばれる人文学と社会科学の学問には、独特の曖昧さやつかみどころのなさがあります。なかでも社会学は、他の社会科学や自然科学のように、数値で表されたデータを統計的に分析する手法をとることもあれば、文学や歴史といった人文系の学問のように、言葉を通じて対象を理解する手法をとることもあるという点で、わかりにくいところのある学問です。ですが、このような雑多な手法を取り入れて発展してきた社会学の、良くいえば開放的な、悪くいえばどっちつかずの性格には、きちんとした理由があります。この授業では、その理由を、そして、なぜ社会学という学問が必要なのかを学んでいきます。社会学にはどのような理論があるのかを知り、その特徴と意義を説明できるようになることが、この授業の目的です。授業では、そもそも科学とはどういうものなのかということからじっくりと考えていきますので、社会学自体には興味のない方も、自分がこれから学んでいく学問の特徴について考える手がかりを得ることができるでしょう。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学とは異なる社会科学の理論的特徴と意義を説明できる。</li> <li>・代表的な社会調査の手法とその意義を説明できる。</li> <li>・社会問題について自分の考えを文章でまとめることができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy    汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の発言・課題への取り組み・コメントシートの内容(40点) + 最終レポート(60点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<b>【予習】</b> LACSにある資料を読み、知らない言葉の意味を調べ、疑問点をまとめておくこと。(2h) <b>【復習】</b> 講義の内容をまとめ、自分の言葉で説明できるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	認識論、社会変動、社会階層、社会調査		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示する。		



受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業は基本的には講義形式で行いますが、自分で考えるための活動や簡単なグループワークをしてもらうこともあります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	新型コロナウイルスの感染状況によって授業の形態や内容を変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回（11/30）	科学理論について考える：自然科学と人文学・社会科学の違い
第3-4回（12/7）	社会学理論の特徴を知る：価値判断と再帰性
第5-6回（12/14）	社会の成り立ちと社会変動：近代化とリスク社会化
第7-8回（12/21）	「より良い社会」について考える：教育と社会階層
第9-10回（1/11）	第9回 「より良い社会」について考える：平等、責任、ケイパビリティ 第10回：社会学理論と社会調査：量的調査と質的調査
第11-12回（1/18）	社会学理論と社会調査：社会のなかにある知識を活用する方法
第13-14回（1/25）	社会学理論と政策：専門知と信頼
第15回（2/1）	まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594007301	科目番号 / Course code	05940073
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	倫理学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Ethics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田村 康貴		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田村 康貴		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田村 康貴		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kktamura1212 nagasaki-u.ac.jp ( を@に変更してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「善/悪」や「正/不正」といった、人間の生にまつわる様々な価値の問題にできるだけ明確に答えようとするのが倫理学です。この授業では、映画等の資料を用いながら、倫理学の基本的なトピックについて具体的に学んでいきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の生とその価値をめぐる思想を学び、その特徴を説明できるようになる。(DP )</li> <li>・他者の生き方の検討を経て、自分の生き方を倫理的に考察できるようになる。(DP )</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献(50%)、期末レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】参考文献を読むなどして、次回のテーマについて事前にある程度の予備知識を得ておく。 (2h) 【復習】参考文献を読むなどして、各回のテーマの理解を深める。(2h)		
キーワード/Keywords	倫理、道徳、幸福、義務、美德		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示・紹介します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	「幸福」や「義務」のような抽象的なトピックが並んでいますが、実際の授業ではなるべく具体的な話をするつもりです（担当教員の趣味で映画の話が多くなるかもしれませんが……）。「ああ、アレのことね！」とか「そうか、コレのことか！」という感じの理解に至るまで、いくらでも質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに：倫理学の問題と方法
第2回	幸福について(1)
第3回	幸福について(2)
第4回	義務について(1)
第5回	義務について(2)
第6回	徳について(1)
第7回	徳について(2)
第8回	おわりに：全体のまとめと期末レポート

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594007501	科目番号 / Course code	05940075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	経済から見る世界と日本(人文・社会科学科目) / The World and Japan in Economic Perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 誠 / Kato Makoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加藤 誠 / Kato Makoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加藤 誠 / Kato Makoto		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部以外		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	makoto.kato nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(片淵)キャンパス本館 6階624号室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日13:30~15:30 (Eメールで事前にアポをとってください) Eメールでの質問も受け付けます。 makoto.kato nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	モノ・サービス、お金、人、情報が、頻繁にかつ大量に国境を越えて移動する時代となり、日本と諸外国との関係が多分野において深まっています。本講義では、こうしたグローバル化社会における日本と世界との関係について、主に経済の観点からの課題や日本との関係が深い諸外国の状況について考察していきます。		
授業到達目標/Course goals	・ 諸外国で何が起きているかを自ら調べることができるようになる( 、 、 、 ) ・ 諸外国での出来事が日本にどのような影響を及ぼし得るかを考え、説明することができるようになる( 、 、 、 )		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各日の講義終了後の小テスト(7回) : 小計60点 課題(2回) : 小計40点 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 : LACSに掲載された講義資料を読み、不明な用語等があれば調べて確認する。(2h) 復習 : 講義資料の再読及び小テストの実施により、理解を確実なものにする。(2h)		
キーワード/Keywords	世界貿易機関(WTO)、経済連携協定(EPA)、貿易統計、国際収支統計		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料は事前にLACSに掲載します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	国際関係に関心のある学生だけでなく、外国のことなど自分や日本には関係ないと思っている学生の受講も歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤誠 財務省において国際経済に係る諸機関（WTO、WCO、APEC、IMF等）及び諸問題（関税及び非関税障壁、貿易救済措置、国際収支統計等）を担当。ベルギー（WCO）及びベトナム（JICA専門家）での在外勤務経験あり。 上記の実務経験を踏まえた講義を行います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序論（イントロダクション）
第2回	世界と日本の経済関係
第3回	世界と日本の経済関係
第4回	世界と日本の経済関係
第5回	世界と日本の経済関係
第6回	世界と日本の経済関係
第7回	アジアと日本の経済関係
第8回	アジアと日本の経済関係
第9回	欧州と日本の経済関係
第10回	北米と日本の経済関係
第11回	中南米と日本の経済関係
第12回	アフリカと日本の経済関係
第13回	食料安全保障
第14回	エネルギー安全保障
第15回	総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220594007701	科目番号 / Course code	05940077
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	不登校と多様な学びを考える(人文・社会科学科目) / School Nonattendance and Alternative Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 特に予定がない日時ならいつでも対応します。 但し、LACSでのメッセージ経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は、日本における不登校現象と、不登校の児童生徒が学校外で学ぶ場所としての「多様な学びの場」についての理解を深めることを目指します。</p> <p>日本では「不登校」という社会現象があります。文部科学省は「病気を除いた心理的・情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により年間30日以上学校を欠席すること」を「不登校」として定義しています。不登校の児童生徒には、学校教育法第一条に定められた学校(一条校)に行くこと以外の選択肢が基本的には認められていません。このため、日本では「不登校」は社会問題とみなされる風潮があります。しかし、これは日本特有の現象です。</p> <p>諸外国では時代と共に学校外での「多様な学びの場」(Alternative Education)の存在が法律等で認可され、公的に認められてきたため、不登校という社会現象そのものが消失していきました。普通の学校に行くことを望まない子どもは「多様な学びの場」を活用して教育・学習を進めた後に大学等へ進学、もしくは就職をしています。</p> <p>一方日本では、学校外での学びは未だ公的にも法的にも認められていません。そのため、不登校の児童生徒は、学校に行けない/行かないままになるか、あるいは私費で学校とは異なる学習方法を用いる学びの場を選んで利用しています。これが「多様な学びの場」(オルタナティブ教育)と呼ばれる組織・団体等です。</p> <p>この科目では、日本における不登校現象の背景や現状および多様な学びの場について解説を行い、日本における不登校現象をいかに解消していけばよいか、その方策を一緒に考えていきます。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における不登校現象について理解することができる。</li> <li>・不登校と多様な学びに関する諸問題について自分の考えを述べることができる</li> <li>・自分と異なる意見を持つ他者と話し合いながら問題解決に取り組むことができる</li> <li>・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy    汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内ワーク40%、授業外課題60% 全課題の総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1)全体の2/3以上の出席及び(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください)
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	本科目では、授業中及び授業後にLACSを通じてワーク(課題)を提出してもらいます。そのため、必ずPCを持参すること。
キーワード/Keywords	多様な学び、子どもの権利条約、教育機会確保法、フリースクール、ホームスクーリング、デモクラティックスクール
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げとなる時点での入室を断る場合があります。(その時間の出席は認めません)授業開始時には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらおう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では不登校現象について客観的に捉え直す視点を培い、代替策としての「多様な学びの場」について理解する力を身につけていくことをねらいとしています。 不登校や多様な学びの場について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション&不登校のイメージを探索する
第2回	日本における不登校現象の特異性とその背景
第3回	学校に行けないのはなぜか?(1)
第4回	学校に行けないのはなぜか?(2)
第5回	なぜ多様な学びが必要か~非認知能力の観点から~(1)
第6回	なぜ多様な学びが必要か~非認知能力の観点から~(2)
第7回	子どもの権利条約
第8回	教育機会確保法
第9回	ホームスクーリング(1)
第10回	ホームスクーリング(2)

第11回	フリースクール
第12回	不登校特例校
第13回	デモクラティックスクール
第14回	シュタイナー教育
第15回	日本の教育政策の最新動向
第16回	まとめ



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596003501	科目番号 / Course code	05960035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	長崎歴史文化学(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / History and Culture of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎史を通じて、長崎の視点から日本史、世界史も学びます。柱になるのはオランダ通詞の業績とキリスト教文化です。長崎と浦上の史跡探訪。ゲーム学習や簡単な聖歌歌唱、聖画模写、工作等が入ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 長崎学を通して学ぶことにより、長崎史の視点から中央史の歪みのある部分を指摘することができる。 2. 日本近代化の基礎を形作りながらも、世に忘れられたオランダ通詞の業績を、学び伝えることができる。 3. 浦上を中心にした本県の四百年にわたるキリスト教文化の変遷を、感動をもって実習することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の課題、感想提出、授業への取り組み・発表10点前後×6回=60点 蘭通詞回と最終レポートは15点 実習点10点 = 総計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 配布テキストに目を通したうえで講義にのぞむこと。(4h) 復習: テキスト、Q&A集を再読し、理解を確実にするよう努めること。(4h)		
キーワード/Keywords	祭り 巫女 漢字 地名 オランダ通詞 隠れキリシタン 聖歌と聖画 浦上の工業		
教科書・教材・参考書/Materials	初回にテキスト配布。Q&A集やフィールドワーク冊子は前時に配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説や祭・アニメにみる巫女の姿、地名・人名から尋ねる荘園と武士の世界、近世を開いた長崎の町と長崎の人たちの業績、また長大の位置する浦上が世界的な殉教の地、工業の地であること、これらを文献や映像、実習、フィールドワークで学びます。なお、天候や感染症に合わせて単元を入れ替え、配点を加減することがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	原口 茂樹 / 長崎県公立学校での41年間の授業経験 / 活水高等学校において8年間の長崎文化学の授業経験（継続中）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1.祭の本質と長崎の祭 神功皇后伝説と神聖姫巫女 及び神子と市子 漢字と風土
第2回	2.シミュレーションゲームで学ぶ荘園と武士の起こり 地名と氏名から探す我々のルーツとなる荘園
第3回	3.長崎くんちの奉納踊りやパイレーツ映画にみる大航海時代と戦国の開港 イエズス会の布教とセミナリヨ グレゴリオ聖歌と聖画 遣欧少年使節
第4回	4.映画「沈黙」にみる弾圧の時代 「ガリバー旅行記」にみるオランダの時代 隠れキリシタンの文化実習～天地始之事（朗読）、歌オラショ（歌唱）、御前様お洗濯（描画）、オマプリ作り（紙工作）
第5回	5.<信仰の聖地・浦上フィールドワーク>（雨天時単元入替） サンタクララ教会跡、秘密教会跡、キリシタン墓地、ベアトス様殉教碑、山里小資料館、如己堂・帳方屋敷、浦上天主堂・鐘楼・資料館
第6回	6.引き続き<浦上フィールドワーク> 浦上キリシタン資料館、医学部被爆遺構、高谷屋敷内神社・平ノ宿跡、天主堂遺壁、平和公園解散
第7回	7.日本近代化の基点・長崎蘭学 オランダ通詞・吉雄耕牛とオランダ座敷 同僚・本木良永の真摯な翻訳作業 江戸蘭学の育成と弟子・杉田玄白の裏切り
第8回	8.翻訳と造語の実際 二人の子弟、志筑忠雄、本木正栄、吉雄権之助らによる文法の解析とズーフハルマ辞書の完成、シーボルト事件による通詞団の壊滅 オランダ通詞と文法小テスト
第9回	9.<長崎フィールドワーク>（雨天時単元入替） 出島、岬の教会、各通詞邸跡、自治都市長崎の城壁と堀、勝山代官屋敷・教会跡、会所跡
第10回	10.引き続き<長崎フィールドワーク> 歴史：立山奉行所、（諏訪神社、マグドナルド碑、堂門橋、桜馬場城、教会跡の春徳寺等）
第11回	11.近代分岐・明治の国作りゲーム 唐文化と唐通事 長大と東大、前史の比較
第12回	12.ベリール艦隊は佐賀藩築造の長崎・四郎ヶ島台場に勝てたか 幕末金銀流失の真実
第13回	13.大村藩の渡辺昇・鞍馬天狗と新選組、薩長同盟、浦上四番崩れの指揮 同期・長与専斎と衛生二人の後輩・長岡半太郎による原子模型及び朝永振一郎、湯川秀樹、仁科博士らノーベル賞集団の育成
第14回	14.第二次大戦と浦上 近代科学とABC兵器 浦上洲村と戦艦 浦上家野村と魚雷
第15回	15.ミッションスクールと教養教育、ポップカルチャーの聖地長崎、Q&A解説、長崎学・浦上学レポート、中央への発信、CD製作の試み等
第16回	（予備回、自由実習の継続、質疑応答等）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220596004501	科目番号 / Course code	05960045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	大学での学びを共に創る(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Co-creation of Learning at University		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学生にとって、高校までの受動的で知識習得型の学びから、主体的で創造的な学びへと学習観を転換することは必要不可欠である。本授業では、近年の大学教育に関連する重要課題・テーマに関する講義と、それら大学教育のテーマを題材とした読む・書く、そして、話し合う・発表するといったアクティブラーニングの実践を通して、学生に、教育の受け手としての受動的な視点だけでなく、大学教育を対象化し、大学の教育や学びについて主体的・創造的に考える態度や技能の習得を図る。それにより、学生が受動的な学習者から、能動的学習者へと成長することを支援する。</p> <p>本授業では演習のテーマとして、大学入試改革、大学教育の質保証、大学での学習支援、大学教養教育のあり方、大学教員の職能開発、大学図書館の役割、地域創生と人材育成など、現代の大学教育における重要課題を用いる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の大学教育の問題点を主体的に発見し、解決策を提案することができるようになる。</li> <li>2. 他の受講生とのコミュニケーション活動を通じ、他者との協働による問題発見や解決に必要な態度や技能を身につける。</li> <li>3. 大学での自身の学びを振り返りながら、今後の自分の大学生活について展望し、その実現のための課題と計画を立てることができるようになる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy    汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; / Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; / It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題(40%)</li> <li>・授業への取り組み、毎回の振り返りシート(30%)</li> <li>・最終課題(30%)</li> </ul> を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習：授業での学びをもとに課題やレポートに取り組む(2h)。		
キーワード/Keywords	大学教育学 大学での学び 問題発見学習 問題解決学習 アクティブラーニング		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、毎回資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	本科目は、担当教員が、秋田大学の教養教育科目「大学の明日をみんなで創る」で4年間、京都大学の大学院科目「戦略的コミュニケーション 세미나」で8年間、提供してきた内容や方法に創意工夫を施して開講しています。秋田大学での担当科目は毎年度、「学生からの評価が高い授業」に認定されてきました。特に、これから、大学で主体的に学んでいこうとする学生、アクティブラーニングに関心のある学生、大学教育を対象とした学問に興味のある学生の積極的な受講を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	大学教育に関する講義（大学教員とFD）
第3回	演習：大学教育の課題を用いた「話し合い」
第4回	演習：大学教育の課題を用いた「話し合い」
第5回	演習：大学教育の課題を用いた「ネゴシエーション」
第6回	演習：大学教育の課題を用いた「ネゴシエーション」
第7回	大学教育に関する講義（大学評価と教育の質保証）
第8回	大学教育に関する講義（大学教育における調査）
第9回	演習：大学教育の課題を用いた「ディベート」
第10回	演習：大学教育の課題を用いた「ディベート」
第11回	大学教育に関する講義（大学における学習支援）
第12回	学生コースバトル
第13回	演習：大学教育の課題を用いた「パネルディスカッション」
第14回	演習：大学教育の課題を用いた「パネルディスカッション」
第15回	大学での教育・学習に関するプレゼンテーション
第16回	本授業のまとめと振り返り